



すべては子ども達のために。

衆議院議員

太田かずみ

新年のご挨拶

皆さんこんにちは、太田かずみです。

2016年通常国会では党のネクスト文部副大臣として返済のいらない給付型奨学金の創設を求めるための法案作りに励んでまいりました。また、海外視察を通じて、高レベル放射性廃棄物処理問題の解決の道を探ってまいりました。原子力に頼らない社会を作り上げるためにも、引き続き取り組んでまいります。

臨時国会ではTPP協定とパリ協定承認といった重要なテーマの陰で、物価が上がっても賃金が下がれば年金も減る「年金カット法案」が衆議院で強行採決されました。仮に、過去10年の物価と賃金にこの法案を当てはめると、国民年金は年間4万円、厚生年金は年間14万円も減る計算になります。そのため、この法案による影響額を求め続けましたが、政府はまともな試算の提出をしないまま、審議を打ち切りました。数の力で強行に押し進める政府与党の姿勢は国民と国会を軽視するものです。

私、太田かずみは、今年で議員在職10年目を迎えます。これからも、未来を生きる次世代に責任を果たすため、政治家が自らを律し、身を切る改革などを断行し、国民とともに進む政治を行ってまいります。



